

選書基準

一般図書

収集の基本的な考え方

- (1) 選択の好み・主観を排除し、客観的に公平な立場で収集する。
- (2) いくつかの意見に分かれるものについては、多様な観点の資料を収集する。
- (3) 魅力ある新鮮な書架をめざし、資料の更新に気を配る。
- (4) 利用者の要求・資料・出版事情を知るように努める。
- (5) 利用の多い分野については、類書や複本を用意する。

*各分野の収集の考え方は「日本十進分類法新訂9版」の主題別配列順に記述する。

総記（図書館・書誌学・百科事典・年鑑）

- (1) 図書館に関する資料は、図書館以外の機関ではほとんど見られないことを考慮し、積極的に収集する。
- (2) 百科事典・年鑑などは、豊富な資料を収集する。
- (3) 情報科学は、技術革新が著しいので、最新の情報を収集する。

哲学（哲学・心理学・倫理学・宗教）

- (1) 各分野の基本書・入門書を体系的に収集する。
- (2) 話題になっているテーマや著書や著作に留意する。
- (3) 一般向けに書かれたわかりやすい宗教書・人生論などに留意する。

歴史（歴史・伝記・地理・紀行）

- (1) 歴史については、多様な資料を収集する。
利用の多い分野なので、一般向けに書かれた歴史読物から、入門書・概説書・研究書・史料など幅広く収集する。
- (2) 伝記については、史料価値が高いので、積極的に収集する。
- (3) 地理については、最新のものを豊富に収集する。

社会科学（政治・法律・経済・統計・社会・教育・民俗・軍事）

- (1) 各分野の基本書を体系的に収集する。
- (2) 時事性の高い分野なので、今日的主題を重視して収集する。
- (3) 入門書・概説書は、常に新鮮な資料を収集する。
- (4) 日常生活及び、実務上に必要な資料を豊富に収集する。

自然科学（数学・物理・化学・天文・生物・医学）

- (1) 進展が著しい分野なので、最新の情報をつねに提供できるように留意する。
- (2) 入門書・概説書を中心に収集する。
- (3) 専門書は、必要に応じて大学の一般教養課程程度のものを収集する。

技術（環境・建築・機械・電気・海洋・工業・家政学）

- (1) 進歩が著しい分野なので、最新の情報をつねに提供できるよう留意する。
- (2) 入門書・概説書を中心に収集する。
- (3) 専門書は、利用の見込める資料を収集する。
- (4) 趣味や実用に役立つ資料は積極的に収集する。

産業（農林業・水産業・商業・交通）

- (1) 各産業の概略を理解するのに役立つ入門書・概説書を中心に収集する。
- (2) 産業社会の新しい動向について、わかりやすく書かれた資料を積極的に収集する。
- (3) 趣味や実用に役立つ資料は積極的に収集する。

芸術（美術・音楽・演劇・スポーツ・娯楽）

- (1) 各分野の基本書を体系的に収集する。
- (2) 美術全集・画集・写真集などは、基本的なものを中心にできるだけ幅広く収集する。
- (3) 趣味として楽しむ人の多い分野については、入門書的なレベルから上級のものまで、豊富に収集する。
- (4) スポーツについては、各種目にわたり、基本書・入門書を中心に収集する。また、新しいスポーツについても積極的に収集する。
- (5) 趣向・流行に留意し、新しい分野についての情報も迅速に提供できるように努める。

言語

- (1) 教養・学習・実用に役立つ資料を豊富に収集する。
- (2) 辞典類は基本的なものを幅広く収集する。
- (3) 各国語の語学書にも留意して収集する。

文学

- (1) 入門書・概説書から、ある程度の研究書まで体系的に収集する。
- (2) 作家論・作品論・文学史・古典などは、基本的なものを収集する。
- (3) 現代小説・随筆などは、利用の多い分野なので、国内国外とも豊富に収集する。
- (4) 受賞作品や話題になっている作品はもれなく収集する。

参考図書

- (1) 調査研究に役立つ参考図書を幅広く収集する。
調査研究を十分に援助するには、資料の厚みが不可欠であり、また、利用の集中を緩和させるためにも、類書を含めて網羅的に収集する。
- (2) 内容が新しく、信頼性の高い資料を収集する。
- (3) 原則として貸出を行わないが、必要なものについては複本を用意して貸出を行う。

郷土資料

- (1) 市民の調査・研究・教養，その他生活情報に役立ち，また郷土の歴史を後世に伝える多様な資料を積極的に収集する。
- (2) 郷土に関する資料とは，次のとおりとする。
 - ①地理的範囲は，岡山県全域と，その他深くかかわりのある地域とする。
 - ②郷土出身，郷土在住，および郷土に深くかかわりのある人物の著作，およびそれらの人物に関する資料とする。
 - ③郷土に関するあらゆる主題を取り扱った資料とする。
例えば 歴史・行政・教育・風俗・習慣・自然・産業・文化財・文学作品など
- (3) 冊子形式に限らず，パンフレット・チラシなどにも留意して，収集する。
- (4) 利用度の高いものは，倉敷市に関する図書を中心に，できるだけ複本を用意する。

視聴覚資料

- (1) 情報化社会の進行にともない，活字以外のメディアの重要性が高まっている活字以外のメディアから，市民が情報・知識・楽しみを得られるよう積極的に収集する。
- (2) 当面，次のものを収集する。
 - ①映像資料—ビデオテープ，レーザーディスク，DVD，その他
 - ②録音資料—コンパクト・ディスク，その他
- (3) 特定のジャンルに偏らないよう，教養・娯楽・学習・実用・資料性などのバランスを考慮した資料の収集に努める。郷土資料については積極的に収集する。また，図書館以外ではほとんど利用の機会がない資料（教養的なものなど）については留意する。
- (4) 予約・リクエストは収集の参考とするが，発売点数が多い中から限られた数を選択するため，また映像資料は著作権法上の制約もあるため，原則として購入希望は受け付けない。
- (5) 資料は，次の考え方にに基づき選択・収集する。
 - ①映像資料
 - ア 評価の定まっている優れたものを収集する。
 - イ 資料的な価値のあるものを収集する。
 - ウ 映画（アニメ・ドラマを含む）は，子どもから大人まで，幅広い層の市民が楽しめるものを収集する。
 - エ 映画（アニメ・ドラマを含む）以外の資料は，映像が特に重要な意味を持つものを中心に収集する。
 - オ 映画は，原則として公開から2年以上たったものを収集する。ただし，主要な賞の受賞作品など特に評価の高いものについてはこれに限らない。
 - ②録音資料

- ア 評価の定まっている優れたものを収集する。
- イ さまざまなジャンルにわたり、幅広く収集する。
- ウ 資料的な価値のあるものを収集する。
- エ 子どもから大人まで、幅広い層の市民が楽しめるものを収集する。

新聞

主要な日刊紙を中心に、各種新聞を収集する。

雑誌

- (1) 雑誌は最新の情報が得られる資料なので、市民の暮らしや楽しみに役立つものの調査研究に役立つものを幅広く収集する。
- (2) 市民の趣向や流行に留意して収集する。
- (3) 同一分野の雑誌で何種類か出ているものは、要求度に差がない場合できるだけ各館で分担して収集する。

特別コレクション

下記のとおり、地域の特色を生かした資料を収集する。

中央図書館—美術書（特に個人画集）に関する図書

水島図書館—公害・環境保全に関する図書

児島図書館—海に関する伝説・民話

玉島図書館—良寛に関する図書

船穂図書館—高瀬通しに関する図書

真備図書館—横溝正史に関する図書

児童図書

収集の基本的な考え方

- (1) 子どもの発達段階や興味に合わせ、感受性を豊かにするものを収集する。
 - (2) 読みつがれ評価の定まったものは収集する。
 - (3) 優れたものについては複本で収集する。
 - (4) 一般書についても考慮に入れて収集する。
 - (5) 外国語の資料も必要に応じ収集する。
 - (6) 児童奉仕・児童書研究書に関する資料も収集する。
 - (7) 正確な情報をもったものを収集する。
 - (8) 造本・装丁のしっかりしているものに留意する。
 - (9) 各項目で除外された資料も、展示・参考用としては受け入れることができる。
- *各分野の考え方は「日本十進分類法新訂8版」の主題別配列順に記述する。

総記

- (1) 子どもの自発的な疑問や調査研究に応えられ、学習に必要な項目が十分用意されているものを収集する。

- (2) 正確な知識と最新の情報が盛り込まれているものに留意する。

哲学

- (1) 人生や生き方についての指南となり，子どもの心の成長をうながすものを収集する。
- (2) 正義感をよびおこし，真理・真実などへの探究心を養うことができるものを収集する。

歴史・伝記・地理

- (1) 歴史
歴史の流れを把握しており，出典や根拠の確かなものを収集する。
- (2) 伝記
エピソード中心でなく生涯史となっており，史実に即して全人的に記述されているものを収集する。
- (3) 地理
日本国内の各地域及び各国の資料を収集し，最新で正確な資料に留意する。

社会科学

- (1) 社会についての基礎的な知識が得られ，個人と社会の結びつきを考えられるものを収集する。
- (2) 身近な近隣社会の問題から，国内・世界的な問題を扱った本まで，幅広く収集する。
- (3) 民話・昔話については原話の持ち味を生かし，背景にあるそれぞれの国・民族の文化を伝えているものを収集する。

自然科学

- (1) 自然に対する興味や関心を深め，科学的なものの見方，考え方の過程を学ぶことができるものを収集する。
- (2) 身体的，生殖と誕生・性についての本は科学的に正確かつ簡素な表現で人間の尊厳を守るように書いてあるものを収集する。

技術

- (1) 科学技術の発展や問題の基礎的な部分を解説し，かつ興味や関心を深められる資料を収集する。
- (2) 家政学については，子どもが実際に作ることでできる実用性と，見て楽しめる娯楽性と合わせ持ったものを収集する。

産業

- (1) 各種産業に関わる多様な資料を収集する。
- (2) 園芸・飼育に関するものは，実用性の高いものに留意する。

芸術・スポーツ・娯楽

各種芸術・スポーツ・遊びに楽しみ、学習し、楽しむことのできるものを収集する。

言語

- (1) 言葉の大切さを知り、国語に対する興味を喚起する資料を収集する。
- (2) 外国語に関する本にも留意する。

文学

- (1) 文章がこなれていて読みやすく、正しい日本語で書かれているものを収集する。
- (2) 子ども向けに編集された日本と世界の古典は各種収集する。
その際、完訳・抄訳ともに必要に応じて収集する。
- (3) 創作児童文学についても、日本の内外ともに幅広く収集する。また、子どもに人気のあるものは、十分内容を検討しながら収集する。
- (4) ノンフィクションは正確な知識や情報に基づいて書かれているものを収集する。
- (5) 詩歌については、よく選ばれた言葉で綴られ子どもの感性に訴えかけるものに留意する。

絵本

- (1) 文章がこなれていて読みやすく、心地よいリズムがあり、正しい日本語で書かれているものを収集する。
- (2) 絵に表現力があり、文章と絵が調和しているものに留意する。
- (3) いつの時代の子どもにも受け入れられる、普遍的なテーマを扱ったものに留意する。
- (4) 科学絵本・知識絵本は、正確さと、絵本としての楽しさを両方備えたものを収集する。

紙芝居

独自の魅力を持つ資料として評価し収集する。

郷土資料

地域の歴史や文化・産業に関する理解を深められる資料を網羅的に収集する。

マンガ

- (1) マンガはひとつの文化として正当に評価する。ただし、きわめて出版点数が多く、内容的な差も大きいいため、時代を超えて残っていく作品を厳選して収集する。
- (2) 購入リクエストは収集の参考にはするが、原則として受け付けない。

(3) 資料は次の考え方にに基づき、選択・収集する。

①一般向けマンガ

- ア すでに評価の定まっている優れた作品，あるいは，新しい作品でも主要な賞の受賞作品など，同等の評価ができるものを収集する。
- イ マンガを用いた入門書，解説書，エッセイなどは，マンガを用いることの必然性を考慮し，各分野の選書基準に照らして判断する。
- ウ 実績のある作家であっても，選定は個々の作品において行う。

②児童向けマンガ

- ア 優れた作品として長年にわたって読みつがれ，すでに評価の定まっているもの，あるいは，新しい作品でも主要な賞の受賞作品など，同等の評価ができるものを収集する。
- イ 学習マンガは，マンガの長所を生かして，親しみやすく説明してあり，内容的にも正確なものを収集する。
- ウ 実績のある作家であっても，選定は個々の作品において行う。

(4) マンガの視覚的な特性と図書館としての役割を考慮し，次のものは選定から外す。

- ア 暴力および性表現の露骨なもの
- イ 人権侵害や差別について配慮に欠くもの
- ウ 作品やキャラクターに一時的な話題性があるに過ぎないもの
- エ 小説，映画，アニメ，ゲームなどを安易にマンガ化したもの

(5) 何人かの職員で選び，意見が分かれるものは十分検討する。